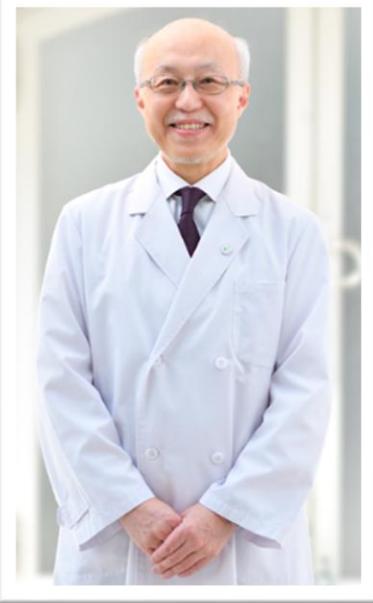


医療連携だより

こう*なんテス

第15号
令和7年11月
発行

なかさと のぶかず 中里信和 病院長のご挨拶



4月に病院長を拝命した中里信和です。2010年2月から東北大学病院てんかん科科長および医学系研究科てんかん学分野教授として勤務しており、この間、てんかん診療の夢と理想を思う存分、追求して参りました。広南病院は私の医師人生の半分近くを過ごした医療機関です。この古巣に戻ることができ、大変光栄に存じております。

当院は脳と神経の専門病院です。私が留守にしていた15年2ヶ月の間、医療の進歩には、目を見張るものがあります。当院は脳卒中診療では国内トップの患者数を誇っていますが、診療の質においても世界的なレベルにあると自負しております。実際、他院で治療困難とされた症例が送られてくることも日常茶飯事です。すべての領域で共通したことです、当院の診療も関連病院との連携やさまざまな患者支援団体との連携が不可欠です。当院をさらに発展させていく上では外部の視点はきわめて重要ですので、今後も何かお気付きの点がございましたら、「改善」のための意見を頂戴できればと存じます。

略歴

1984年 東北大学医学部卒業 同脳神経外科入局
1988年 東北大学医学部脳神経外科・助手
1989年 カリフォルニア大学ロサンゼルス校・研究員
1992年 広南病院脳神経外科・医師
1996年 東北大学医学部脳神経外科・助手
2000年 広南病院・臨床研究部長
2008年 広南病院・副院長
2010年 東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野・教授
2025年 広南病院・病院長

書籍

- ・名医が答える!てんかん治療大全
講談社、東京、2025
- ・改訂2版 ねごろんてんかん診療
メディカ出版、大阪、2024
- ・もっとねごろんてんかん診療
メディカ出版、大阪、2020
- ・変わる! あなたのてんかん治療
NHK出版、東京、2018
- ・「てんかん」のことがよくわかる本
講談社、東京、2015

やざわ ゆかこ 矢澤由加子 副院長のご挨拶

このたび、令和7年4月1日付で広南病院副院長を拝命いたしました。当院は脳卒中急性期医療を担う専門病院として、24時間365日体制で救急対応を行っております。私自身もこれまで脳血管内治療を中心に、発症直後の再開通治療から再発予防、リハビリ支援まで一貫して脳卒中診療に携わってまいりました。

近年の急速な高齢化に伴い、脳卒中患者数は今後さらに増加が見込まれています。脳卒中医療は一つの病院だけでは完結しません。救急医療だけでなく、発症予防、早期発見、在宅支援など、地域全体での継続的な支援体制がますます重要となっています。副院長として、地域の医療機関の皆さんと顔の見える連携をさらに深め、患者さん・ご家族が安心して治療を受けられる地域づくりに貢献してまいります。今後とも変わらぬご指導ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



鹿毛淳史 脳神経外科部長のご挨拶



このたび広南病院脳神経外科の部長を拝命いたしました。これまで東北大学脳神経外科をはじめとする関連施設で、脳血管障害を中心とした診療・研究に携わってまいりました。広南病院脳神経外科は、脳動脈瘤や脳動静脈奇形などの高難度な脳血管疾患に対する外科治療、もやもや病など頭蓋内外動脈狭窄に対する血行再建術に豊富な経験を有しています。また、東北大学脳神経外科と連携して、これらの疾患に関する基礎研究や臨床研究も行っております。さらに、三叉神経痛や顔面けいれんといった機能的疾患、神経内視鏡を駆使した神経内分泌腫瘍をはじめとする脳腫瘍、外傷や正常圧水頭症など一般脳神経外科領域にも幅広く対応しています。地域の先生方と緊密に連携し、患者さんに最適な治療を迅速に提供できる体制をさらに充実させていく所存です。安全性と確実性を最優先に、個々の病態に応じたきめ細やかな外科治療を実践し、治療後の生活の質(QOL)の向上にも努めてまいります。これまで培った知識と技術を活かし、地域医療の発展に貢献できるよう努力を続けてまいります。今後ともご指導ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

略歴

2009年3月 東北大学医学部卒業
 2011年3月 岩手県立中央病院初期臨床研修修了 東北大学脳神経外科関連病院で研鑽
 2016年3月 東北大学大学院医学系研究科修了
 2016年4月-2018年6月カリフォルニア大学サンフランシスコ校留学
 2018年7月-2019年3月 岩手県立中央病院・東北大学病院
 2019年4月-2020年9月 広南病院
 2020年10月-2021年10月 白河厚生総合病院・八戸市立市民病院
 2021年11月から広南病院勤務
 2023年4月-2024年12月 脳神経外科副部長
 2025年1月から現職

資格

- ・日本脳神経外科専門医・指導医
- ・日本脳卒中の外科学会技術指導医
- ・日本脳神経血管内治療学会専門医
- ・日本脳卒中学会専門医
- ・日本神経内視鏡学会技術認定医

面高俊介 血管内脳神経外科部長のご挨拶



皆さま、こんにちは。このたび、2025年1月より広南病院 血管内脳神経外科部長として赴任いたしました。これまで東北大学脳神経外科に所属し、東北各地の関連病院で脳外科医として経験を積んできました。血管内治療と開頭手術の両方に携わってきたことで、それぞれの利点をふまえた柔軟な治療選択ができるよう心がけています。患者さんにとって何が一番安全で、効果的かを常に考えることを大切にしています。血管内治療の技術日々進化しており、治療の選択肢も広がっています。そうした中で、当科では脳神経外科・脳血管内科・放射線科などと日々連携し、患者さん一人ひとりに合わせた最適な治療を提供しています。診療科の垣根を越えて議論を交わし、チームで最良の治療方針を導き出す体制が整っている点は、広南病院の大きな強みだと実感しています。まだまだ至らぬ点も多いかと思いますが、皆さまとの日々のコミュニケーションを大切にしながら、より良い診療体制を築いていけたらと思っています。気軽に声をかけていただけるとうれしいです。どうぞよろしくお願ひいたします。

略歴

2006年 東北大学医学部卒業
 2006-2008年 大崎市民病院 (初期研修)
 2008年 東北大学脳神経外科入局
 2008-2018年 広南病院、東北大学病院、岩手県立中央病院 青森県立中央病院
 さいたま赤十字病院、仙台医療センター、白河厚生病院 他
 2018-2020年 UCSF研究留学
 2020-2022年 みやぎ県南中核病院、広南病院
 2022年4月 東北大学大学院 神経外科学分野 助教
 2024年4月 同分野 講師 2025年1月 広南病院 血管内脳神経外科 部長

資格

- ・日本脳神経外科学会専門医
- ・日本脳卒中の外科学会技術認定医
- ・日本脳神経血管内治療学会指導医
- ・日本脳卒中学会専門医

看護部教育研修についての紹介

看護部長 佐藤美由紀

看護部では、教育委員会を中心に計画的な研修を実施し、看護職員の専門能力向上と人間形成を支援しています。

1. 研修の構成

必須研修として全職員へ、ラダー別研修、看護研究、介護福祉研修を実施しています。

選択研修として、

- ・BLS研修修了者による 「急変時対応」
- ・認知症ケア専門士による 「認知症・専門ケア」
- ・脳卒中リハビリテーション認定看護師による 「高次脳機能障害」

・教育委員による「看護診断」を実施しました。

就業時間外の開催でありながら、多くの職員が積極的に参加しており、職員一人ひとりの成長を支える自己研鑽の機会と位置付けています。

2. 研修の特徴

講師は院内の職員が務め、外部研修・学会での知識・技術を活かして人材育成に貢献し、他部署との交流を深めながら学びを広げています。

研修を通し、看護部理念である「専門能力の向上と 感性豊かな人間形成に努め、患者さんの心に届く看護を提供する」を大切にしながら、患者さんに寄り添うより良い看護の実現に日々取り組んでいます。

今後は、より多くの職員が多様な研修や学会に積極的に参加し、医療・看護への関心を深めながら、学びの幅をさらに広げていくことを期待しています。

また、学会発表や他施設との連携を通じて新たな気づきやつながりが生まれ、当院の看護が今後も大きく発展していくことを願っています。

医療安全管理室の紹介

医療安全管理室 副室長 石塚 仁

広南病院医療安全管理室発足2年目を迎えました。医療安全管理室は、すべての患者さんが安心して医療を受けられる環境を整えるために設置された部署です。

ヒヤリ・ハットやインシデントレポート収集事業、医療事故の分析、再発防止策の立案、職員教育やマニュアル整備などを通じて、院内の安全文化を深化するには、どのようなアプローチが良いのかを悩みながらの日々が続いております。

近年は、ガイドライン策定、災害マニュアルの改訂、災害訓練の企画・実施など業務の幅も拡大中です。

医療安全の解釈次第でどこまでも仕事内容が広がっていく今日この頃、少し恐怖を感じていますが、管理室スタッフである、矢澤副院長、阿部薬剤部長、阿部事務部長、後藤とともに、医療安全管理室の目的が達成できるよう多職種との連携を大切にし、これからも安全で信頼される医療を目指していきます。



脳卒中啓発運動 「元気な今だからこそ脳卒中予防」活動報告

2025年10月26日(日) ベガルタ仙台ホームゲーム
ベガルタ仙台vsサガン鳥栖戦にて開催



来場された皆さんの血圧や血管年齢の測定等を行い、結果をもとに脳卒中専門医・管理栄養士から生活習慣病や脳卒中予防についてアドバイスを行いました。生活習慣病には、おなかまわりの内臓に脂肪が蓄積した内臓脂肪型肥満が大きくかかわっています。内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖、高血圧、脂質異常のうちいずれか2つ以上をあわせもった状態を、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)といいます。宮城県は平成20年からメタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合が全国より高めに推移し、15年ワースト3位以内で経過しています。(データーから見たみやぎの健康 概要版より引用)

広南病院は今後も脳卒中予防について様々な活動を行ってまいります

第3回 広南病院市民公開講座を開催しました

日時 2025年9月28日（日）

場所 広南病院 外来ホールにて



脳神経疾患の専門病院

広南病院が考える 毎日使える減塩レシピ

レシピ本に掲載している料理の試食会では、グラタン、スープ等準備しました。また、管理栄養士による 減塩みそ汁の飲み比べや無塩ポテトの試食会も実施しました。特に、無塩ポテトは中学生から高齢者まで、ご好評いただきました。

小中学生対象の医療従事者セミナーを開催しました。広南病院 脳血管内科の先生方による脳卒中の勉強会、看護師体験、リハビリ体験、車いす操作、ストレッチャー乗車体験 装具を使った麻痺体験、頸部エコー体験などを実施しました。リハビリ体験では、実際に装具を使った歩行練習などを行いました。



ご参加の皆様からは、実際に病院の中に入って医療体験を行うことが出来たので勉強になった、脳卒中のリハビリを頑張っているご家族の大変さが分かった等、貴重なご意見を頂戴しました。次年度も様々な形で、地域の皆さまへの脳卒中予防についてお伝えしたいと思います。

第20回 広南病院医療連携の会 開催

日時 2026年2月12日(木) 19:00~21:00

場所 ホテルメトロポリタン仙台

内容 講演会および情報交換会

近隣医療機関の皆様のご参加を心よりお待ちしております

編集後記

晩秋の冷たい空気に、冬の訪れを感じる季節となりました。実りの秋を迎えた昨今、熊が人間の生活圏に出没し、野生動物に襲われる恐怖を感じています。平穏な日常は、人間社会で作り上げていかなければならぬ現実を実感している今日この頃です。

寒暖差の大きい季節となりました、体調管理に十分お気をつけてお過ごしください。

